

第4回、第5回理事会を開催しました

◆第4回理事会

日時：6月26日（火）10時25分～11時45分

場所：メルパルクNAGANO 4階月の間（長野市）

出席：12名（理事11名：監事1名）

内容：以下の案件について審議を行い、承認しました。

- (1) 2012年度県生協連理事会役割分担
- (2) 2012国際協同組合年「長野県協同シンポジウム」への参加
- (3) 信州大学経済学部の協同組合特別講座への参加
- (4) 2012年度上期役職員研修会開催計画（再確認）
- (5) 2012年度県企画部消費生活室による施設視察計画（案）
- (6) 2012年度理事会県外視察研修計画（案）
- (7) 2012年度理事長・専務理事懇談会開催計画
- (8) 福島県生協連及び日本生協連の要請に応えた募金と署名への協力
- (9) 県生協連震災等管理マニュアルの改訂



続いて、第3回理事会以降の機関会議、活動報告や行政・他団体から提供された情報を報告し、すべて承認されました。

※6月12日に第3回常任理事会を開催し、第4回理事会の審議事項等の検討を行いました。

◆第5回理事会

日時：8月24日（金）13時00分～14時25分

場所：ホテル メトロポリタン長野 3階志賀の間（長野市）

出席：12名（理事11名：監事1名）

内容：以下の案件について審議を行い、承認しました。

- (1) 県生協連震災管理マニュアルの改訂及び県連役職員緊急連絡網の作成
- (2) 決裁・稟議規程の改訂
- (3) 「九州北部豪雨募金」の取り組み
- (4) 第1回信州の食を育む県民大会への後援及び出展
- (5) 県労福協県政要請での県生協連からの要望事項
- (6) 信州大学経済学部の協同組合特別講座への参加計画
- (7) 長野県虹の会北海道視察研修会への参加
- (8) WHOウォークイベント in NAGANO名義後援
- (9) 「知って得するインターネットの使い方2012セミナー」の名義後援
- (10) 長野県食品の安全と安心の確保に関する条例（仮称）」骨子案に対する意見



続いて、第4回理事会以降の機関会議、活動報告や行政・他団体から提供された情報を報告し、すべて承認されました。

※7月12日に第4回常任理事会、8月6日に第5回常任理事会を開催し、第5回理事会の審議事項等の検討を行いました。

福島県の生協及び東日本大震災の被災地を視察しました

8月20日（月）・21日（火）の2日間、県生協連役員並びに会員生協の職員14名が、福島県の生協と被災地を視察しました。

最初に、コープふくしまを訪問し、野中俊吉専務理事から、昨年の東日本大震災（東京電力福島第一原発事故）以降、復興に向けて「コープふくしまが取り組んでいる（きた）こと」、「放射能にまつわる食の安心」、「福島産物を支える取り組み」、「放射能問題を理解することの大切さ」など説明いただき意見交換を行いました。また、「コープマートいずみ（店舗）」も視察しました。

次に、福島医療生協を訪問し、渡辺幸夫専務理事、佐藤克行組織部長から、震災直後の病院や付近の様子、当時の放射能の飛散状況、復興に向けた取り組み、放射能に負けない健康づくりの取り組みについて報告をいただきました。また、併設のわたり病院を視察し、病院内に設置されている放射線測定値の表示や放射能測定器などについて説明を受けました。

福島県生協連では、熊谷純一会長理事から、東京電力福島第一原発の現在の状況や福島県生協連が取り組んでいる放射能汚染マップづくり、子ども保養プロジェクトの取り組みについて紹介をいただきました。また、渡邊とみ子さんから、飯館村から福島市に避難している女性を支援する「かーちゃんのカプロジェクト協議会」の活動について報告をいただきました。

翌21日には、福島県生協連の佐藤一夫専務理事に同行いただき、相馬市の新地町役場から釣師浜海水浴場付近や松川浦の津波による被災地、南相馬市の警戒区域ゲートや飯館村の全村避難地域など放射能汚染による区域を視察しました。

警戒区域ゲート付近や飯館村では、まだまだ高い濃度の放射線量が報告され、両区域では、津波や放射能の影響によって作付けができなく荒地となっていました。

この1年半の間に福島県の各生協が取り組まれてきたことや今後の課題などについてのお話や実際に被災地を視察することで、被災地の実態や目には見えない放射能の恐ろしさを実感しました。また、被災地の実情をきちんと受け止め、震災復興のために、何が出来るのかを改めて考えさせられました。



コープふくしまでの意見交換



当時の放射能飛散状況の説明

わたり病院周辺の環境放射線測定値	
測定日時	7月19日 12:00
病院玄関前	高さ1m 0.42
ロータリー	高さ50cm 0.42
外東待合	高さ1m 0.09
ホール	高さ50cm 0.09

わたり病院内に掲示された放射線測定値



福島県生協連内に設置の放射能測定器



「かーちゃんのカプロジェクト協議会」渡邊とみ子会長の報告



残された瓦礫の山



南相馬市警戒区域ゲート付近

会員生協 理事長・専務理事懇談会を開催しました

日時：8月24日（金）15時00分～18時00分

場所：ホテル メトロポリタン長野 2階千曲の間（長野市）

出席：12会員生協の理事長・専務理事及び県生協連役員・事務局23名

内容：冒頭、上田均会長理事が主催者挨拶を行い、懇談会では、自己紹介及び出席会員生協より概要の説明をいただいた後、小松由人専務代行が県生協連の主だった活動や取り組みについて報告を行いました。



続いて、会員生協状況報告として、最初に、生活協同組合コープながのの太田栄一専務理事から、2012年度の重点課題やこの間の取り組み、また、高齢化の進行等に対応した新たな事業展開として、移動販売事業、夕食宅配事業、通所介護サービス事業について報告がありました。次に、信州大学生生活協同組合の中村誠一専務補佐からは、大学生協の概要、年間を通じての活動(食堂事業、購買事業、公務員講座、環境活動)、新入生を温かく迎える活動について報告がありました。上伊那医療生活協同組合の野口正泰専務理事からは、生協の設立から現在までの主要な取り組み、医療と介護が連携した医療生協の安心ネットワークづくり、第28回通常総代会で承認された2012年度の重点課題について報告をいただきました。

懇談会終了後は、懇親会を開催し、和やかに懇親を深めることが出来ました

長野県協同組合フェスティバル準備委員会が開催されました

○第3回準備委員会

日時：7月5日(木) 14時00分～15時15分

場所：生活協同組合コープながの 会議室（長野市）

出席：6生協（コープながの、生活クラブ長野、長野医療、東信医療、全労済長野県本部、長野県高齢者）の委員と業務委託会社及び県生協連担当理事、事務局の12名

内容：県生協連の尾崎洋子理事（長野医療生協常務理事）が委員長に互選されました。

事務局が、第2回準備委員会及び長野県実行委員会第12回幹事会の報告を行い確認しました。協議事項では、会員生協の出展状況、会場レイアウト、広報（告知チラシ・パンフレット）、ステージ企画などについて協議し、生協陣営としての考え方や方向性を確認しました。



○第4回準備委員会

日時：8月9日(木) 14時00分～15時10分

場所：生活協同組合コープながの 会議室（長野市）

出席：6生協（コープながの、生活クラブ長野、長野医療、東信医療、全労済長野県本部、長野県高齢者）の委員と業務委託会社及び県生協連担当理事、事務局の14名

内容：事務局が、第3回準備委員会及び長野県協同組合フェスティバルの後援団体について報告を行い確認しました。協議事項では、全体の出展ブース数及び生協関係の出展企画内容、会場レイアウト、ステージ企画及び料理教室の実施、諸事項（出展・出演者へのご案内、広報、駐車場、当日の要員体制などについて確認をしました。

第3回・第4回幹事会を開催しました

○第3回幹事会

日時：6月28日（木）10時25分～11時40分

場所：長野県労働会館 3階会議室（長野市）

出席：13名（幹事・監事10名、事務局3名）

内容：鶴飼照喜会長が議長を務め、議事を進行しました。

1. 事務局が以下の事項を提案し、すべて承認されました。
 - (1) 加藤さゆり長野県副知事との懇談について
 - (2) 第4回市町村消費生活関連事業調査行政調査実施計画について
 - (3) クレちほ第17回シンポジウム in 長野への参加について
 - (4) 第9回消費者力向上学習会・検定試験について
 - (5) 長野県中小企業振興審議会委員候補者の推薦について
 - (6) 住まいと省エネフェア2012 後援（名義）のお願いについて
 - (7) 平成24年度消費者団体等活動支援事業募集要項（案）について



2. 事務局が以下の事項について報告・情報提供を行いました。

第2回幹事会、平成24年度循環型社会形成推進功労者表彰知事表彰候補者の推薦、「さわやか信州省エネ大作戦・2012夏」、平成23年度消費生活相談の状況、長野県節電・省エネ対策連絡会議事務レベル会合、第1回長野県温暖化対策ステークホルダー会議、「食べ残しを減らそう県民運動」「宴会たべきりキャンペーン」、「あいとびあ祭り2012」参加団体の募集、「レジ袋使用削減プロジェクト」活動、石油製品情報（長野県）、消費者ネットワークNo.180

○第4回幹事会

日時：7月26日（木）10時00分～12時25分

場所：長野県婦人会館 会議室（長野市）

出席：13名（幹事・監事10名、事務局3名）

内容：鶴飼照喜会長が議長を務め、議事を進行しました。

1. 県消団連と加藤さゆり長野県副知事との懇談を行いました。

加藤さゆり副知事をはじめ企画部生活文化課消費生活室の小口由美室長、樋口隆教課長補佐、小山哲也主査にご出席をいただき、消団連から第4回市町村消費者行政調査の結果について報告し市町村の消費者行政の実態や県の消費者行政対応に関する考え方等について意見交換を行いました。

また、県より資料提供があった「平成24年度事業概要書」に基づき、意見交換を行い、消費者の自立支援の取り組み、県の消費者行政推進体制の強化、相談員の待遇改善や市町村広域連携の進め方などについて意見が出され、懇談をしました。

加藤さゆり副知事との懇談を踏まえ、県消団連として、相談員の待遇やあり方、県の消費者行政の推進体制など県消団連としての考え方を整理し、県行政への提言や消費者問題に対する諸課題について明確化することを確認しました。

2. 事務局が以下の事項を提案し、すべて承認されました。

- (1) 第42回長野県消費者大会の開催計画について
- (2) 平成24年度消費者団体等活動支援事業補助金への応募について
- (3) 第4回市町村消費者行政調査結果について
- (4) 第51回全国消費者大会実行委員会への参加登録について



3. 事務局が以下の事項について報告・情報提供を行いました。

第3回幹事会、クレちは第17回シンポジウムin長野、「さわやか信州省エネ大作戦」ピークカットチャレンジの実施、全国消団連「市町村消費者行政充実のための交流会」、消費者機構日本ニュースレター 第80号、石油製品情報（長野県）、「エネルギー・環境に関する選択肢」の意見（全国消団連速報23号）、消費者ネットワークNo.181

クレジット被害対策・地方消費者行政充実会議（略:クレちほ） 第17回シンポジウム in 長野が長野市で開催されました

日時：7月28日（土）11時00分～18時30分

場所：長野県高校会館 大会議室（長野市）

出席：50名（同会議メンバー、県内の消費者団体、
県行政、県弁護士、県司法書士 他）

内容：このシンポジウムは、地方の消費者行政を充実させるために毎年場所を変えて開催されているもので、シンポジウムに先立つ特別講義では、小野寺友宏弁護士（仙台）が「特定商取引のすき間と対策」と題し、特定商取引法による規制と適用対象外の分野、被害の実情、現行制度における解決方法や民法による救済について、事例に沿ってご説明をいただきました。



シンポジウムでは、冒頭、当会議の代表幹事の釜井英法弁護士（東京）、長野県弁護士会の安藤雅樹副会長、長野県司法書士会の熊谷健会長より挨拶がありました。

第1部の学習編（クレジット被害編）では、県企画部生活文化課消費生活室の小口由美室長が「長野県の消費者被害の実情」、西野大輔弁護士（秋田）が「健勝苑グループ事件・一審判決及び和解報告」、埼玉弁護士会の神野直弘弁護士（埼玉）が「サクラサイト（出会い系サイト）被害の実態と救済手段」、澤田仁史弁護士（千葉）が「悪徳商法提携リースの法規制を求める全国ネット活動」と題し、それぞれご報告をいただきました。

第2部の学習編（多重債務問題）では、山田治彦弁護士（大阪）が「行政による多重債務対策の必要性 - 地方自治体への期待」、セーフティネット貸付実現全国会議事務局長で長野中央法律事務所の村上晃弁護士が「セーフティネット貸付の現状と課題」、常岡久寿雄弁護士（千葉）が「寄り添いホットラインの実施状況と今後の課題」と題し、それぞれご報告をいただきました。

第3部の運動編（地方消費者行政の充実）では、加藤さゆり長野県副知事が「長野県の消費者行政の実情」、県消団連の小松由人事務局長が「長野県における運動体の動き」、当会議の代表幹事の池本誠司弁護士が「消費者行政の現状と課題」、当会議事務局長の拝師徳彦弁護士が「地方消費者行政の充実に向けた運動提起」と題し、それぞれ報告された後、千葉県、東京都、宮城県、埼玉県、秋田県の各団体の活動報告がありました。

シンポジウム終了後は、現地懇談会が行われ、消費生活相談員の雇い止めや相談窓口の役割などについて、意見交換が行われました。